

改革フォーラム

首藤 孝治・牧田 俊之・越川 慶一
松井 雅宏・矢農 誠

2月定例会では市長の市政方針に対し会派を代表して矢農議員が代表質問を行いました。

取り上げたテーマはこれまで会派で継続的に取り組んで来た内容を中心に、少子高齢化対策、財政健全化、行政改革、水素エネルギー、観光振興ビジョン、まちなか再生、防災対策、待機児童対策、市立病院経営、新千歳空港民営化、中小企業振興、ごみ個別収集、ウトナイ地区の中学校新設、学校耐震化、など多岐にわたります。

また、続く予算委員会では一般会計に松井議員(委員長)、越川議員、首藤議員。企業会計に矢農議員、牧田議員が配置され、各種の提案を含む質疑を行いました。

代表質問



矢農 誠 議員

今回、会派を代表して初めての代表質問の機会をいただき、大変幅広い内容を長時間の準備をして登壇させていただきました。

子ども子育て支援では待機児童対策に関して、27年度開設を計画していた小規模保育施設を開設できなかつた点を指摘し、対策を求めました。また、父子手帳の発行や子育て情報メールサービス「きずなメール」の導入などこれまで求めて来た対策が28年度から導入されることを確認し子育てしやすい環境づくりを求めました。

他にも水素エネルギープロジェクト、新千歳空港の民営化、中小企業振興、立地企業サポートなど、会派の仲間がこれまで取り上げてきた地域経済活性化の課題について取り上げました。

予算委員会



越川 慶一 議員

新年度予算の参議院選挙経費で、市民が投票しやすい環境づくりのひとつとして、のぞみ・沼ノ端コミュニティセンターの期日前投票所開設時間を20時までまでに延長することや、大型商業施設及

び駅前のココトマにも期日前投票所を設置することを提案しました。また、災害用備蓄計画の策定状況やウトナイ地区の中学校新設に関する質疑なども行いました。



牧田 俊之 議員

企業会計予算審査特別委員会にて、「国保事業会計」では収納率、特定健診受診率向上活動、「節目健診制度」導入等、「上下水道事業会計」については給水収益について質疑を進め、今後策定される新水道ビジョンの中で財政運営シミュレーションも提示すると回答が示されました。

沼ノ端中継ポンプ場増設工事、コンポスト事業、脱水汚泥量の減量化についても質疑を進めました。



松井 雅宏 議員

予算審査特別委員会では委員長を務め、関係者のご助力のもと活発な議論が展開されるとともに効果的な運営ができました。

総務委員会では、私が4年前から求めていた時代に即した準防火地域の指定に関して縮小に向けた報告があり、この間の見直しに向けた取り組みを評価すると共に市民周知や関係機関に十分な説明をしていくことを求めました。



首藤 孝治 議員

新年度予算に計上された総合福祉会館等補助金事業は、昭和58年から見直されていないことに加え、当時は消費税も無かったこと、さらに、国交省の建設工事費デフレーター(物価指数)の資料では、昭和58年と平成26年の1㎡当たりを比較すると、約3万円上昇しており、早急に見直しを行うよう改善を求めた結果、「理事者から早急に改善する」答弁がありました。